詚

第8.1.2.1-16表 気象の状況(月平均値の10年平均値)

項	月	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気	温	(℃)	4.5	6.1	8.9	14.6	19.1	23.3	26.8	28.2	24.9	18.7	12.6	7.2
風	速	(m/s)	3.1	3.3	3.5	3,4	3.1	2.6	2.8	2.8	2.8	2.6	2.6	2.9
相対	湿度	(%)	62	60	57	57	64	69	71	68	68	67	66	66
雲	量	(-)	5.6	5.8	5.8	6.3	7.2	8.2	8.0	7.3	7.0	6.2	5.8	5.6

[「気象庁年報 2001~2010年」 (気象庁, 2002~2012年) より作成]

準備書 P8.1.2-105

誤

第8.1.2.1-20表 濁りの発生量(工事開始後11か月目)

工事場所	工種	日施工量Q	$w_0 \times R / R_{75} \times \alpha$ (kg)	濁りの 発生量 W (t/日)
1~4 号機取水口	鋼矢板引抜	15.6 枚/日	76.6	1.2
7 号系列取水口	浚渫	650.0 m ³ /日	7.33	4.8
淮	毎域工事に伴う選	間りの発生量		6.0

注:日施工量Qの値は、日最大施工量とした。

準備書 P8.1.3-158

誤

(c) 調査結果

重要な種の調査結果は、第8.1.3.2-33表のとおりである。

文献その他の資料調査において確認された重要な種は、刺胞動物 1 種、軟体動物 23 種、節足動物 3 種及び魚類 9 種である。

現地調査において確認された重要な種は、軟体動物 19 種、節足動物 4 種、魚類 1 種及び哺乳類 1 種であり、現地調査による重要な種の確認状況は第 8.1.3.2-34 表のとおりである。

また,調査地域において,注目すべき生息地は確認されなかった。

īF.

第8.1.2.1-16表 気象の状況(月平均値の10年平均値)

項	_目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気	温	(℃)	4.6	6.0	9.0	14.7	19.2	23.3	26.9	28.1	24.8	18.6	12.4	7.2
風	速	(m/s)	3.1	3.3	3.5	3.3	3.1	2.6	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6	2.9
相対	湿度	(%)	62	60	57	57	64	68	71	67	67	67	65	65
雲	量	(-)	5.7	5.7	5.9	6.3	7.2	8.2	7.8	7.2	7.0	6.2	5.6	5.5

[「気象庁年報 2001~2010年」(気象庁, 2002~2012年) より作成]

準備書 P8.1.2-105

正

第8.1.2.1-20表 濁りの発生量(工事開始後11か月目)

工事場所	工種	日施工量Q	$w_0 \times R / R_{75} \times \alpha$ (kg)	濁りの 発生量 W (t/日)
1~4 号機取水口	鋼矢板引抜	15.6 枚/日	76.66	1.2
7号系列取水口	浚渫	650.0 m ³ /日	7.33	4.8
淮	毎域工事に伴う落	闘りの発生量		6.0

注:日施工量Qの値は、日最大施工量とした。

準備書 P8.1.3-158

正

(c) 調査結果

重要な種の調査結果は、第8.1.3.2-33表のとおりである。

文献その他の資料調査において確認された重要な種は、刺胞動物 1 種、軟体動物 21 種、節足動物 3 種及び魚類 9 種である。

現地調査において確認された重要な種は、軟体動物 19 種、節足動物 4 種、魚類 1 種及び哺乳類 1 種であり、現地調査による重要な種の確認状況は第 8.1.3.2-34 表のとおりである。

また、調査地域において、注目すべき生息地は確認されなかった。

詚

第8.1.3.2-33表 重要な種の調査結果

	7 1				逞	展定基準	Ė		- 11		確	認状	況	
区分	科 名	名 種名		全 国 愛					名古屋 市	文献	現地調査			Ĭ.
			(Ī)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	等	春	夏	秋	3
				略)		0		0						_
	リソツボ	タニシツボ	_	_	NT	3-0	-	-		0	12	_	_	-
	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ (エドガワミズゴマツボ)	-	-	NT	-	-	NT	NT	0	=	0	=	Ī
	タマガイ	ネコガイ	-	-	NT	-	-	VU	-	0	_	-	-	1
		アダムズタマガイ	7-1	-	NT			CR		0	0	_	_	1
	アッキガイ	アカニシ	7	-		減少		-		-	0	0	_	
	コロモガイ	オリイレボラ	-	_	VU	-	-	EN	EN	0	0	0	0	
	スイフガイ	カミスジカイコガイダマシ	1	-	VU	63 7 6	7 = 0	-		0	0	-	-	T
	キヌタレガイ	キヌタレガイ	= 1	1 (-1)	NT		-	NT	12-0	0	-	-	-	
	フネガイ	アカガイ	D=1	-	-	減少	Q (+	-	> = :	0	0	0	0	
	イガイ	ツヤガラス	-	-			-	CR		0	=	-	-	
	ハボウキガイ	タイラギ	-	-	NT	減少	9 - 0	NT	NT	0	-	0	-	
-loke the	ツキガイ	ツキガイモドキ	= 1	-	=	-	-	NT	NT	0	=	-	0	
軟体		イセシラガイ	-	-	CR+EN		- 4	CR	CR	0	-	-	_	Γ
動物	ウロコガイ	オオギウロコガイ			CR+EN		- 20	-	-	0		0	-	
	チドリマスオ	クチバガイ	-	-	NT	-	-	-		-	-	0	-	T
	ニッコウガイ	ユウシオガイ	- 1	-	NT	11-5	-	NT	NT	+	-	0	0	
		サクラガイ	1 - 1	-	NT		-	NT	NT	0	0	0	0	Ī
		ウズザクラガイ	_	-	NT	2 = c	-	NT	10	0	0	0	0	
		ゴイサギガイ		-			-	-	NT	0	0	0	0	
	tana a a t	ヒメシラトリガイ	-	-	-2.1	7,45	-	-	NT	0	-	-	0	
	マテガイ	マテガイ	-	-	-	_	-	NT	140	0	-	0	0	
	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ	-	-	NT	> -	14	-	54.7	0	-	0	-	I
	マルスダレガイ	イヨスダレガイ	- 1	-				VU	VU	0	0	0	0	
	オオノガイ	オオノガイ	-	-	NT	V V	-	NT	NT	0	=	-	-	
		ヒメマスオガイ	-	-	VU	-	-	CR	CR	0	0	-	-	
	ヒメイカ	ヒメイカ			-	減少			-	0		-	-	Γ

- 注:1. 選定基準の記号は, 第8.1.3.2-32表のとおりである。
 - 2. 選定基準の「一」は、該当しないことを示す。
 - 3. 確認状況の「○」は、生息が確認されたことを示す。
 - 4. 確認状況の「一」は、出現なしを示す。
 - 5. 文献等は, 第8.1.3.2-31表の文献を示す。

正

第8.1.3.2-33表 重要な種の調査結果

					逞	建定基準	Ė				確	認状	況	
区分	科 名	種名		全 国 愛知県					名古屋 市	文献	現地調査			
	1 10 10 11		(Ī)	2	(3)	(4)	(5)	(6)	7	等	春	夏	秋	4
				略)	0	•	0	0				_	_	_
	リソツボ	タニシツボ	_	-	NT	-	_	_	-	0	_	_	_	-
	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ (エドガワミズゴマツボ)	-	ē	NT			NT	NT	0	_	0	_	-
	タマガイ	ネコガイ	_	_	NT	_	_	VU		0	_	_	-	-
		アダムズタマガイ	-	-	NT	_		CR	-	0	0	-	-	-
	アッキガイ	アカニシ	===	-		減少	-	_		-	0	0	-	(
	コロモガイ	オリイレボラ	-	-	VU	Section	-	EN	EN	0	0	0	0	-
	スイフガイ	カミスジカイコガイダマシ	-	_	VU	-	-	-	-	0	0	-	-	-
	キヌタレガイ	キヌタレガイ	-	-	NT	-		NT	-	0	-	-	-	-
	フネガイ	アカガイ	-	_	_	減少	-	_	-	0	0	0	0	(
	イガイ	ツヤガラス	_	-	-	-	G 😅 🔾	CR		0	-	-	-	-
	ハボウキガイ	タイラギ	_	- 1	NT	減少	_	NT	NT	-	_	0	_	(
tolo the	ツキガイ	ツキガイモドキ	_	-		-	-	NT	NT	0	-	-	0	
軟体動物		イセシラガイ	-	-	CR+EN	-	-	CR	CR	0	-	-	-	
到分	ウロコガイ	オオギウロコガイ	-	-	CR+EN	-	_	_	-	0	-	0	-	-
	チドリマスオ	クチバガイ	-	-	NT			-	-	_	-	0	-	
	ニッコウガイ	ユウシオガイ	-	-	NT	-	-	NT	NT	_	_	0	0	(
		サクラガイ	-	-	NT	-	-	NT	NT	0	0	0	0	(
		ウズザクラガイ	-	_	NT	-	_	NT	-	0	0	0	0	(
		ゴイサギガイ	- - - 1	-	1-1	> + >		-	NT	0	0	0	0	(
		ヒメシラトリガイ	-	-	-		-	_	NT	0	-	-	0	
	マテガイ	マテガイ	-		-	-	_	NT	-	0	-	0	0	
	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ	-	-	NT	-	=	_	0-0	0	-3	0	_	
	マルスダレガイ	イヨスダレガイ	-	-	-		_	VU	VU	0	0	0	0	(
	オオノガイ	オオノガイ	-	-	NT	\rightarrow	-	NT	NT	0	-	-	-	
	100	ヒメマスオガイ	-	_	VU	-	-	CR	CR		0	-	-	
	ヒメイカ	ヒメイカ		-		減少	_	_	-	0	_	_	-	1

- 注:1. 選定基準の記号は, 第8.1.3.2-32表のとおりである。
 - 2. 選定基準の「一」は、該当しないことを示す。
 - 3. 確認状況の「○」は、生息が確認されたことを示す。
 - 4. 確認状況の「一」は、出現なしを示す。
 - 5. 文献等は, 第8.1.3.2-31 表の文献を示す。

誤

第8.1.3.2-34表(1) 重要な種の確認状況〔現地調査〕

種 名	調査項目	季節	確認状況
		(略	ş)
サクラガイ	底生生物	春	調査地点18において、2個体が確認された。
	(マクロベントス)	夏	調査地点 18 において、17 個体が確認された。
		秋	調査地点16において、2個体が確認された。
	1 1	冬	調査地点 16 において 2 個体,調査地点 18 において 3 個体が確認された。
ウズザクラガイ	底生生物 (マクロベントス)	春	調査地点 16 において 4 個体, 調査地点 18 において 3 個体が確認された。
		夏	調査地点6において1個体,調査地点16において 7個体が確認された。
		秋	調査地点 16 において 4 個体, 調査地点 18 において 3 個体が確認された。
		冬	調査地点 16 及び調査地点 18 において,各 2 個体が 確認された。
	1	(略	

正

第8.1.3.2-34表(1) 重要な種の確認状況〔現地調査〕

調査項目	季節	確認状況
·	(略	· (f)
底生生物	春	調査地点18において、2個体が確認された。
(マクロベントス)	夏	調査地点18において、17個体が確認された。
	秋	調査地点 16 において 2 個体, 調査地点 18 において 1 個体が確認された。
	冬	調査地点 16 において 2 個体, 調査地点 18 において 3 個体が確認された。
底生生物 (マクロベントス)	春	調査地点 16 において 4 個体,調査地点 18 において 3 個体が確認された。
	夏	調査地点6において1個体,調査地点16において 7個体,調査地点18において16個体が確認された。
	秋	調査地点 16 において 4 個体,調査地点 18 において 3 個体が確認された。
	冬	調査地点 16 及び調査地点 18 において,各 2 個体が 確認された。
	底生生物 (マクロベントス) 底生生物	底生生物 春夏 (マクロベントス) 秋 冬 底生生物 (マクロベントス) 春夏 秋 秋